

## 1 課 題

別紙のとおり

## 2 応募方法

### (1) 応募できる作品数

課題ごとに各学校で審査した作品の中から、優秀作品を全・定課程別で3点以内とする。

### (2) 作品送り状の事前登録方法

平成28年10月1日(土)～11月11日(金) 16:00迄に所定事項を記載し、メールで作品送り状を事前登録する。「事前登録先 seizu.con@gmail.com」

※確認返信メールが届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

- ① 作品送り状の入手：本研究会のホームページよりダウンロードする。
- ② 登録後、変更があった場合は、期限内に再度登録してください。
- ③ 事前登録しても作品が受付締切日迄に届かない場合は、応募を取り消す。

### (3) 作品図面の提出方法

課題ごとに指定された用紙に作図し、下記送付先に受付の締切日を厳守して送付する。

### (4) 送付上の注意

- ① 図面ケースは、図を破損しないように、A2判を2つ折りにしたA3判の平板状のケースを使用して送付する。
- ② 作品送り状は、各学校とも事前登録したものを印刷し、同封する。
- ③ 返送用伝票(「ゆうパック」の着払いまたは料金を支払った伝票)は、必要事項を記入し、同封する。※返送用伝票の指定返却事務処理上「ゆうパック」を希望する。

### (5) 作品送付先

〒135-0004

東京都江東区森下5-1-7 TEL03-3631-4928

東京都立墨田工業高等学校内 東日本建築教育研究会 製図コンクール係 宛

※応募作品の発送(郵送)については、別紙のとおり

### (6) 作品受付締切

平成28年11月7日(月)～11月11日(金) 必着(16:00迄)とする。

### (7) 参加登録料

会員校(本研究会)以外の参加校は、328円分(82円切手4枚)の切手を同封する。  
なお、領収書は後日審査結果の返送時に同封する。

### (8) 返送方法

返送用伝票(着払いまたは料金を支払った伝票)を使用して、応募作品・賞状等を送付する。

## 3 審査方法

製図コンクール運営委員会において審査し、下記賞状を授与する。

金 賞 課題ごとに各 1点

銀 賞 課題ごとに各 3点

銅 賞 課題ごとに各 6点

入 賞 課題ごとに各 10点程度

奨励賞 金・銀・銅賞・入賞の作品を除くすべての応募作品に与える。

※金・銀・銅・入賞は、応募数により増減を考慮する。

## 4 その他

- (1) 応募作品の著作権や工業所有権等は応募者の所有とする。ただし、作品の公開(展示・出版)については、本研究会が自由に行うことができるものとする。
- (2) 作品送り状の記載欄にて、ホームページ等への記載を希望するか否かを○△×で必ず記入する。
- (3) 賞状は、平成28年12月中旬に発送予定である。
- (4) 作品等の問い合わせは、すべて下記の製図コンクール運営委員長にしてください。  
審査会場校にご連絡することは、ご遠慮ください。

千葉県立京葉工業高等学校 建設科 卜部 寿々子 TEL 043-251-4197

- (5) 作品送付先違い、期限が守れない作品は失格となりますので、ご注意ください。

第35回 全国高校生建築製図コンクール 課題1 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1 学年 2 学年	ケント紙 A3 (297×420)	1 課題名 軒先マワリ詳細図 2 要求図面（尺度1：5）
定時制 1 学年 2 学年	横使い	(1) 軒先マワリ詳細図

1 応募学年

全日制の2学年で応募できるのは、専門的な建築の学習を2学年から開始する総合学科や、2学年からコース別選択をする学科等に在籍する生徒のみである。

2 作図上の注意

- (1) 「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の製図例1-1（製図例2-6の軒先まわりの詳細図）を模写する。  
ただし、引出線の角度および線の納まりは揃えること。
- (2) 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。
- (3) 文字の形状や大きさなどが不揃いにならないようにする。
- (4) 図形の正確さに留意する。  
ア 部材の寸法は、製図例1-1、製図例2-4、製図例2-6を参照する。  
イ 小屋梁の径に注意する。
- (5) 天井高さの位置は、製図例2-6を参照する。
- (6) 表題欄は、用紙の右下すみに記入する。
- (7) 寸法・表示記号は、JIS A 0150建築製図通則、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】本文製図例）を参照する。

3 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワークプロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) インキングで仕上げた作品。
- (5) CADデータ図面を下に敷いて写したと思われる作品。
- (6) 「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業019】）の製図例1-6の作品。

4 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科、学年、氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題1	木造平家建専用住宅			学校名				10
図名	軒先マワリ詳細図	尺度		学科学年		氏名		
20	60	20	30	20	50	20	40	10

【受付・締切】平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1学年 2学年	ケント紙 A2 (420×594)	1 課題名 木造平家建専用住宅 2 要求図面（尺度1：100）
定時制 1学年 2学年 3学年	横使い	(1) 配置図兼平面図 (2) 立面図（2面 南面および東面） (3) 断面図（1面） (4) 屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度1：100～1：200

1 作図上の注意

(1) 配置図兼平面図は、ホームページ（<http://www.hnkkk.org/>）からPDFファイルをダウンロードしてください。

(2) 各図面の描き方は、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の第3章に準ずる。

(3) 各図における注意事項

① 配置図は、各自の計画とする。

ア 敷地の形状、道路との関係、方位等は、配置図兼平面図（別紙）のとおりとする。

イ 敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ 造園計画、ポーチ、スロープ、ウッドデッキの計画は自由とする。

エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。

② 平面図は、ホームページ（<http://www.hnkkk.org/>）からPDFファイルをダウンロードした図面（配置図兼平面図）の模写とする。

ア ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。

イ 断面図の切断位置を記入する。

ウ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③ 立面図は、各自の計画とする。

ア 南面および東面の合計2面とする。

イ 屋根の形状に留意する。

④ 断面図は、各自の計画とする。

ア 切断位置は、開口部を含む部分とする。

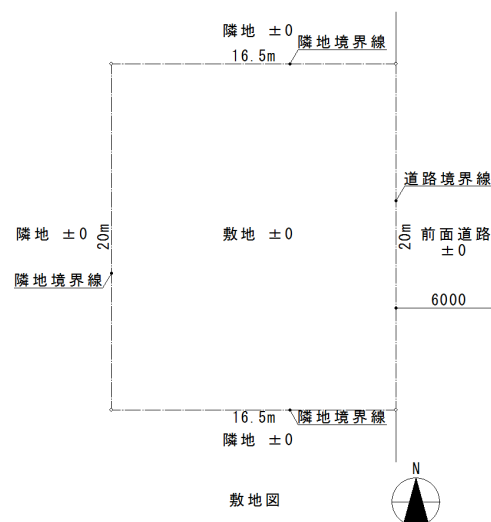
イ 基準地盤面、一般軒高、最高高さ、屋根勾配、軒・けらば等の出、床高、各室の天井高、床の高低差、窓高、開口部の内法高さ、室名を記入する。

⑤ 屋根伏図は、各自の計画とする。

ア 描き方は、製図例2-4を参照する。

イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。

ウ 断面図の切断位置を記入する。



(4) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。また、文字の形状や大きさ、図形の正確さにも留意する。
- ④ 表題欄は、右下すみに記入する。
- ⑤ 寸法・表示記号は、J I S A 0 1 5 0 建築製図通則、「建築設計製図」(実教出版社刊【7 実教 工業305】本文製図例)を参照する。

2 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワークプロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) 着色・インキングで仕上げた作品。
- (5) 床仕上げを表現した作品。
- (6) C A Dデータ図面を下に敷いて写したと思われる作品。

3 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科、学年、氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 2	木造平家建専用住宅			学校名				10
図 名	配置図兼平面図・立面図 断面図・屋根伏図	尺 度		学科学年		氏 名		
20	60	20	30	20	50	20	40	

【受付・締切】平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）

課題番号	用紙	課題名・要求図面
全日制 2学年 3学年	ケント紙 A2 (420×594)	1 課題名 木造2階建専用住宅 2 要求図面（尺度1：100）
定時制 3学年 4学年	横使い	(1) 配置図兼1階平面図 (2) 2階平面図 (3) 立面図（2面 南面および東面または西面） (4) 断面図（1面） (5) 屋根伏図（尺度1：100～1：200） (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみ） (7) 設計主旨

## 1 設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。

計画に当たっては、次の（1）～（4）に留意し、高齢者に配慮した計画とする。

### (1) 敷地

ア 形状、道路との関係、方位等は敷地図のとおりである。

イ 第一種低層住居地域にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ 建ぺい率の限度は50%、容積率の限度は100%である。

エ 電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。

### (2) 構造・階数

木造2階建とする。

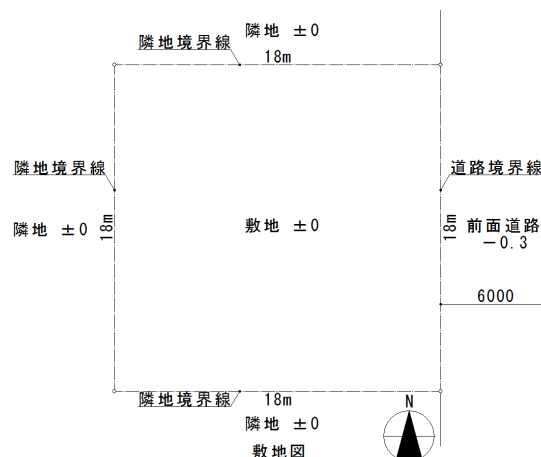
### (3) 延べ面積

ア 160m<sup>2</sup>未満とする。

イ ピロティ、玄関ポーチ、屋外駐車スペース等は、床面積に算入しない。

### (4) 家族構成

老人夫婦、夫（会社員）、妻、子供2人（男子高校生・女子中学生）



## 2 作図上の注意

### (1) 配置図兼1階平面図

ア 構造に無理がない形状とする。

イ 敷地と道路との高低差（0.3m）に留意する。

ウ 敷地境界線と建築物との距離、建築物の寸法を記入する。

エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。

オ 平面図の壁は塗りつぶさず、柱等を記入する。

カ 断面図の切断位置を記入する。

キ 台所設備機器（流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等）、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。

ク 家具は記入する。

ケ 通し柱を○で記入する。

コ 階段には必ず手すりを記入する。

サ 室名をその室内に記入する。

シ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

(2) 2階平面図

- ア 平家部分がある場合には，1階屋根伏図も記入する。
- イ 2の(1)のオからシを適用する。

(3) 立面図

- ア 南面および東面または西面の合計2面とする。
- イ 屋根の形状に留意する。

(4) 断面図

- ア 切断位置は，1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。
- イ 基準地盤面，一般軒高，最高高さ，屋根勾配，軒・けらば等の出，床高，各室の天井高，床の高低差，窓高，開口部の内法高さ，室名を記入する。

(5) 屋根伏図

- ア 描き方は，製図例2-4を参照する。
- イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。
- ウ 断面図の切断位置を記入する。

(6) 面積表

- ア 建築面積，各階床面積および延べ面積を記入する。
- イ 数値は，小数点以下第2位までとし，第3位以下は切り捨てる。

(7) 設計主旨

- ア 設計条件について留意した点を，200文字程度で記入する。
- イ 図面余白に記入する。

(8) その他

- ア 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。
- イ 図面の種類および尺度は規定に従う。なお，要求図面以外は不要である。
- ウ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，それぞれの線を明瞭に力強く描く。また，文字の形状や大きさ，図形の正確さにも留意する。
- エ 表題欄は，右下すみに記入する。
- オ 寸法・表示記号は，J I S A 0 1 5 0 建築製図通則，「建築設計製図」(実教出版社刊【7実教 工業305】本文製図例)を参照する。

3 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) 着色・インキングで仕上げた作品。
- (5) 床仕上げを表現した作品。
- (6) CADデータ図面を下に敷いて写したと思われる作品。

4 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 3	木造2階建専用住宅			学校名				10
図名	配図図表1階平面図・2階平面図 立面図・断面図・屋根伏図	尺度		学科学年		氏名		10
20	60	20	30	20	50	20	40	

【受付・締切】平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1学年 2学年 3学年	普通紙 A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造平家建専用住宅（CAD製図） 2 要求図面（尺度1：100） (1) 配置図兼平面図 (2) 立面図（2面 南面および東面） (3) 断面図（1面） (4) 屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度1：100～1：200
定時制 1学年 2学年 3学年		

1 作図上の注意

(1) 配置図兼平面図は、ホームページ (<http://www.hnkkk.org/>) からPDFファイルをダウンロードしてください。

(2) 各図面の描き方は、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の第3章に準ずる。

(3) 各図における注意事項

① 配置図は各自の計画とする。

ア 敷地の形状、道路との関係、方位等は、配置図兼平面図（別紙）のとおりとする。

イ 敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ 造園計画、ポーチ、スロープ、ウッドデッキの計画は自由とする。

エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。

② 平面図は、ホームページ (<http://www.hnkkk.org/>) からPDFファイルをダウンロードした図面（配置図兼平面図）の模写とする。

ア ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。

イ 断面図の切断位置を記入する。

ウ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③ 立面図は、各自の計画とする。

ア 南面および東面の合計2面とする。

イ 屋根の形状に留意する。

④ 断面図は、各自の計画とする。

ア 切断位置は、開口部を含む部分とする。

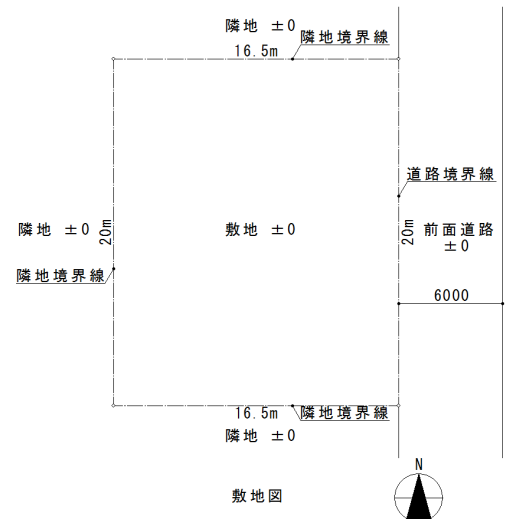
イ 基準地盤面、一般軒高、最高高さ、屋根勾配、軒・けらば等の出、床高、各室の天井高、床の高低差、窓高、開口部の内法高さ、室名を記入する。

⑤ 屋根伏図は、各自の計画とする。

ア 描き方は、製図例2-4を参照する。

イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。

ウ 断面図の切断位置を記入する。



(4) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、文字の大きさ、図形の正確さにも留意する。  
特に、印刷時の設定に留意する。
- ④ 表題欄は、用紙の右下すみに作図する。
- ⑤ 作品を2部提出する（指定用紙はA2であるが、A3を2枚貼り合わせても可とする。その場合は、A2サイズより若干小さくなるが、きちんと貼り合わせること）。
- ⑥ 過去に作成したCADデータの流用は行わない。
- ⑦ JIS A 0150建築製図通則を参照する。

2 失格事項

- (1) 作品を2部提出していない場合  
※審査時に書き込みを入れるため、必ず必要となる。
- (2) モノクロ印刷以外の作品
- (3) 平面図から自動的に立面図や断面図を描いた作品

3 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 4	木造平家建専用住宅(CAD製図)			学校名			
図名	配置図兼平面図・立面図 断面図・屋根伏図	尺度		学科学年		氏名	
20	60	20	30	20	50	20	40



第35回 全国高校生建築製図コンクール 課題5 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）

課題番号	用紙	課題名・要求図面
全日制 2学年 3学年	A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造2階建専用住宅（CADプレゼンテーション作品） 2 要求図面（尺度：自由）
定時制 3学年 4学年	※色や紙質 は自由	(1) タイトル (2) 設計主旨（200字程度とし、図面の余白に記入する） (3) 配置図兼1階平面図（造園計画，駐車スペースを図示） (4) 2階平面図（平家がある場合には，1階屋根伏図も記入） (5) パースまたは模型写真 (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみでよい） (7) その他立面図・断面図等必要と思われるもの

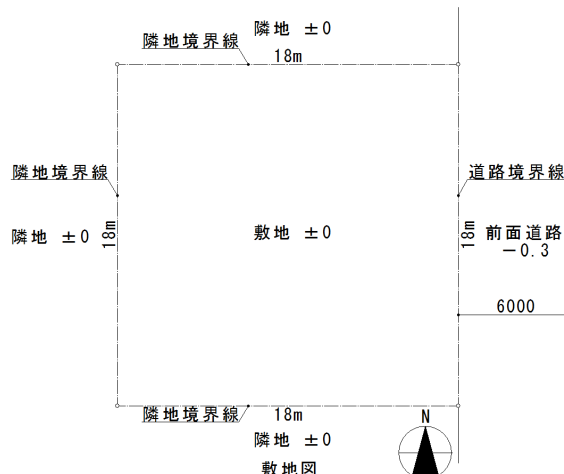
1 設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。

計画に当たっては，次の（1）～（4）に留意する。

(1) 敷地

- ア 形状，道路との関係，方位等は敷地図のとおりである。
- イ 第一種低層住居地域にあり，防火・準防火地域の指定はない。
- ウ 建ぺい率の限度は50%，容積率の限度は100%である。
- エ 電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。



(2) 構造・階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

- ア 160 m<sup>2</sup>未満とする。
- イ ピロティ，玄関ポーチ，屋外駐車スペース等は，床面積に算入しない。

(4) 家族構成

老人夫婦，夫（会社員），妻，子供2人（男子高校生・女子中学生）

(5) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。
- ② 線，面ともにカラー出力でも可とする。
- ③ 模型の写真をそのまま貼り付けることは可とする。
- ④ パースは内観でも外観でも可とする。
- ⑤ 作品の裏面右下に，学校名・学科・学年・氏名をレイアウトする（手書きでも可）。
- ⑥ 作品を2部提出する（指定用紙はA2であるが，A3を2枚貼り合わせても可とする。その場合は，A2サイズより若干小さくなるが，きちんと貼り合わせること）。
- ⑦ 過去に作成したCADデータの流用は行わない。
- ⑧ JIS A 0150建築製図通則を参照する。

2 失格事項

(1) 作品を2部提出していない場合

※審査時に書き込みを入れるため，必ず必要となる。

(2) 作品の表面に，学校名・学科・学年・氏名を書いた作品

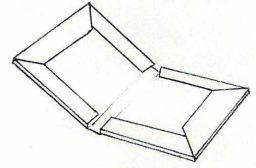


# 応募作品の発送（郵送）・返送および事前登録等について

主催：東日本建築教育研究会

## 作品を発送する梱包ケース、同封するものについて

- 発送時の梱包ケースA2判を二つ折りにしたA3判のケース（右図参照）を用意したか？
- 作品は、各課題3点以内か？
- 課題4と課題5を応募する場合は、2枚印刷しているか？（1枚の場合は失格となります。）
- 事前登録した作品の送り状を印刷し、1部同封したか？
- 着払い伝票もしくは、それに代わるものを同封したか？
- 東日本建築教育研究会の会員校以外は、参加登録料328円分（82円切手4枚）、を用意したか？



## 1 作品送り状の事前登録について

※作品送り状の入手：本研究会のホームページよりダウンロードする。

- 平成28年10月1日（土）～11月11日（金）16：00迄に事前登録をしたか？

「事前登録先 [seizu.con@gmail.com](mailto:seizu.con@gmail.com)」

件名：学校名  
添付ファイル名：学校名

- 事前登録の「確認返信」が、あったか？
- 事前登録後、作品の変更等があった場合は、再度登録をし直したか？  
※事前登録しても作品が受付締切日迄に届かない場合は、応募を取り消します。

## 2 作品の返送の「ゆうパックの着払い伝票」などについて

- 着払い伝票を準備し、記載漏れが無いのか？
  - お届け先を記入したか？
  - ご依頼主を「同上」と記入したか？
  - お届け通知を「不要に○」を付けたか？
  - 配達時間帯に○を付けたか？  
※希望する時間があれば、希望時間帯に○
  - 品名を「図面」と記入したか？
- 着払い伝票を使用しない場合
  - 切手の場合 → 必要な郵送分の切手を用意したか？



## 3 発送（元払い伝票）について

- お届け先（審査会場校）は記入したか？

〒135-0004

東京都江東区森下5-1-7 TEL03-3631-4928

東京都立墨田工業高等学校内 東日本建築教育研究会 製図コンクール係 宛

- 配達希望日および配達希望時間帯は、
  - 平成28年11月7日（月）～11月11日（金）必着（16：00迄）にしたか？  
※期限を過ぎて到着した作品は失格となります。時間に余裕を持って郵送してください。